

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和02年度 対象年月： 令和 3年 3月
 会計： 一般会計
 局： 環境農政局
 所属： 環境農政局森林再生課（直通 045-210-4346）
 公会計事業： 治山費

1 主な事業内容

- ・ 治山事業（公共事業・単独事業）を実施する。
- ・ 飯山白山森林公園の維持管理事業を実施する。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

（単位：千円）

科目	H30決算	R01決算	R02決算	H30-R01増減率	R01-R02増減率
経常費用	2,560,674	2,490,346	2,469,453	△2.7%	△0.8%
人件費	139,017	140,722	148,523	1.2%	5.5%
物件費等 ※	2,251,875	2,220,807	2,230,674	△1.4%	0.4%
物件費	71,253	62,420	120,706	△12.4%	93.4%
維持補修費	60,344	84,147	73,249	39.4%	△13.0%
減価償却費	2,120,278	2,072,920	2,036,719	△2.2%	△1.7%
移転費用 ※	475	193	262	△59.5%	36.3%
補助金等	106	117	32	11.2%	△72.7%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	-	35	-	皆増	皆減
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	-	35	-	皆増	皆減
純経常行政コスト（経常収益－経常費用）①	△ 2,560,674	△ 2,490,311	△ 2,469,453	2.7%	0.8%
臨時損失	18,556	15,066	-	△18.8%	皆減
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト（①－臨時損失＋臨時利益）	△ 2,579,230	△ 2,505,377	△ 2,469,453	2.9%	1.4%
財源	258,176	307,996	665,478	19.3%	116.1%
税収等	-	-	-	-	-
国等補助金	258,176	307,996	665,478	19.3%	116.1%
本年度差額	△ 2,321,054	△ 2,197,381	△ 1,803,975	5.3%	17.9%
一般財源充当調整額	2,253,872	2,132,944	2,607,993	△5.4%	22.3%

（注）※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

（単位：千円）

科目	R01決算	R02決算	増減率	科目	R01決算	R02決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	38,677,290	37,797,203	△2.3%	固定負債	14,895,858	13,872,465	△6.9%
有形固定資産	38,677,290	37,797,203	△2.3%	県債	14,807,646	13,789,996	△6.9%
事業用資産	4,458	4,387	△1.6%	長期未払金	-	-	-
土地	4,205	4,205	0.0%	退職手当引当金	88,211	82,469	△6.5%
建物	2,248	2,248	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 2,129	△ 2,190	2.9%	その他固定負債	-	-	-
工作物	3,949	3,949	0.0%	流動負債	3,756,411	3,090,040	△17.7%
工作物減価償却累計額	△ 3,818	△ 3,828	0.3%	県債	3,746,487	3,080,161	△17.8%
その他	3	3	0.0%	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	賞与等引当金	9,924	9,879	△0.5%
インフラ資産	38,672,832	37,792,816	△2.3%	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-				
工作物	120,008,263	121,068,247	0.9%	負債合計	18,652,268	16,962,504	△9.1%
工作物減価償却累計額	△ 81,715,602	△ 83,752,250	2.5%	純資産合計	20,025,022	20,834,698	4.0%
その他	-	-	-	負債及び純資産合計	38,677,290	37,797,203	△2.3%
建設仮勘定	380,171	476,820	25.4%				
物品	0	0	0.0%				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
流動資産	-	-	-				
資産合計	38,677,290	37,797,203	△2.3%				

（注）負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書（経常費用の経年比較）

主な増減（R01-R02の比較）は、維持補修費が 10.9 百万円（13.0 %）減少しています。要因としては、治山施設に係る維持補修費が減ったためです。

② 貸借対照表（資産の部）

R02決算の内訳は、工作物が 373.2 億円で、資産の 98.7 % を占めています。そのほか、固定資産には、建設仮勘定が 4.8 億円、土地は 0.04 億円となっています。

③ 貸借対照表（負債の部）

R02決算の内訳は、県債が 168.7 億円で 99.5%、退職手当引当金が 0.8 億円で 0.5 % を占めています。

④ 貸借対照表（純資産合計）

R02決算では、資産合計 378.0 億円から負債合計 169.6 億円を差し引いた 208.3 億円が純資産合計となり、純資産比率（純資産合計/資産合計）は 55.1 % です。

⑤ 貸借対照表（資産の経年比較）

主な増減（R01-R02の比較）は、建設仮勘定が 1.0 億円（25.4 %）増加したことです。要因としては、治山施設の整備を実施したためです。

（注1）②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

（注2）③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

（注3）他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費（退職手当引当金等）」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。